

平成 27 年度（ 音 楽 ）授業改善推進プラン

	指導方法の課題	具体的な授業改善策	補充・発展指導計画
1 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な発声方法などを意識させ、自ら工夫させる。 ・ 音楽に必要な基本的な読譜力を定着させる。 ・ 様々な音楽の表現活動に触れ、音楽への興味関心を深めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌いやすい曲を選択し、合唱の響きの美しさを感じることが出来る体験を多く取り入れる。 ・ 簡単なリズム譜などによる読譜を継続的に行う。 ・ 鑑賞や和楽器などの演奏により、様々な音色や響きに関心をもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業で与えた課題を十分に理解し習得している生徒には、次のステップ課題を与える。 ・ 授業の進度に遅れがちな生徒には、個別指導を行う。 ・ 鑑賞だけでなく、実技においても自らの音楽を注意深く聴き、音色や響き、他との調和を常に意識させる。
2 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発声方法の基本を振り返るとともに定着させる。 ・ 表現活動において、楽曲のしくみを理解させた上で、曲想を工夫できるようにさせる。 ・ 基本的な読譜力を定着させ、視唱力や視奏力を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌唱時の声と体のコントロールを常に意識させる。 ・ 合唱全体における響きやパートの役割を考えさせ、曲想の工夫をさせる。 ・ 実技テストを活用し、表現能力の向上を目指す。 ・ 読譜の練習や簡単な聴音課題を継続的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業で与えた課題を充分理解、習得している生徒には、次のステップ課題を与える。 ・ 授業の進度に遅れがちな生徒には、課題に気付くことができるように個別指導を行う。 ・ 鑑賞だけでなく、実技においても自らの音楽を注意深く聴き、音色や響き、他との調和を常に意識させる。
3 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表現活動においてのさらなる技術の向上を目指す。 ・ 鑑賞の能力を伸ばす学習を進んで取り入れていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験的、問題解決的な学習を重視し、音楽のさまざまな要素に着目しながら合唱表現を工夫させる。 ・ 総合芸術作品の鑑賞により、音楽の歴史や世界観を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表現活動が不十分な生徒には、個別のアドバイスや実践の練習を補充する。 ・ 合唱指導やアンサンブルなどを通して、常にお互いの音を聴き合い、質の高い音を求めながら鑑賞し、自らの表現活動に生かすことを意識させる。